

あなたのお店を拝見 つながりを大切に、信用を高めて、 総合力でお客様のために。

宇部ヤンマー販売株式会社

船用部門が売上の大半を占めていた昭和53年に、船用部門を当時の山口ヤンマーディゼルの合併し農業機械事業の経営となった後、果敢な営業で現在の宇部ヤンマー販売株式会社(宇部市昭和町2丁目2番5号)の土台を作り上げた末富茂樹氏を訪ねた。

宇部市は、販売農家の65%以上が1ヘクタール未満、集落営業も少ない、小規模農家が多い地域です。

山口宇部空港から車で7分、JR宇部線宇部駅



社長 末富茂樹氏

宇部ヤンマー販売株式会社が、小野田市の末富商社と合併し、清氏が父親の経営する小野田市の末富商社から、昭和25年に独立し創業しました。創業当初から独立歩の精神に徹し、



宇部ヤンマー販売株

昭和48年頃から船用部門を扱い、特に小型の近海船舶用エンジン等の卸売の割合が高く、昭和53年当時、売上の70%を占めるまでになっていました。

しかし船舶用エンジンの競争激化等将来に向け、厳しい状況に置かれていたことから、この年の10月、船舶部門を当時の山口ヤンマーディゼル株式会社に合併し、

昭和48年頃から船用部門を扱い、特に小型の近海船舶用エンジン等の卸売の割合が高く、昭和53年当時、売上の70%を占めるまでになっていました。

その後、平成5年に末富氏は社長に就任。先代は会長として会社を見守り、86歳まで毎日事務所にきて仕事をしていたが、昨年2月90歳で永眠しました。整備工場には、先代の清氏が趣味で集めた貴重な全国に数台しかないヤンマーの汎用

エンジン、昔のヤンマーの看板や、いろいろな種類の農具が展示されていました。他にもエンジン等が別の場所に保管されているそうです。

当社周辺の農家は、地域性なのか、集落営業や法人化による大規模化はあまり進まず、耕作面積も2〜7反、多くても1町歩程度で、他地域同様に高齢化による離農も増えています。

この状況に対応するため、農業を継続していき、農家を継承していくことが必要だと考えています。現在も数軒から請け負っているのですが、これをさらに本格化していくことが必要だと考えています。

昭和48年頃から船用部門を扱い、特に小型の近海船舶用エンジン等の卸売の割合が高く、昭和53年当時、売上の70%を占めるまでになっていました。

その後、平成5年に末富氏は社長に就任。先代は会長として会社を見守り、86歳まで毎日事務所にきて仕事をしていたが、昨年2月90歳で永眠しました。整備工場には、先代の清氏が趣味で集めた貴重な全国に数台しかないヤンマーの汎用

昭和48年頃から船用部門を扱い、特に小型の近海船舶用エンジン等の卸売の割合が高く、昭和53年当時、売上の70%を占めるまでになっていました。

その後、平成5年に末富氏は社長に就任。先代は会長として会社を見守り、86歳まで毎日事務所にきて仕事をしていたが、昨年2月90歳で永眠しました。整備工場には、先代の清氏が趣味で集めた貴重な全国に数台しかないヤンマーの汎用

この状況に対応するため、農業を継続していき、農家を継承していくことが必要だと考えています。現在も数軒から請け負っているのですが、これをさらに本格化していくことが必要だと考えています。

昭和48年頃から船用部門を扱い、特に小型の近海船舶用エンジン等の卸売の割合が高く、昭和53年当時、売上の70%を占めるまでになっていました。

その後、平成5年に末富氏は社長に就任。先代は会長として会社を見守り、86歳まで毎日事務所にきて仕事をしていたが、昨年2月90歳で永眠しました。整備工場には、先代の清氏が趣味で集めた貴重な全国に数台しかないヤンマーの汎用

この状況に対応するため、農業を継続していき、農家を継承していくことが必要だと考えています。現在も数軒から請け負っているのですが、これをさらに本格化していくことが必要だと考えています。

昭和48年頃から船用部門を扱い、特に小型の近海船舶用エンジン等の卸売の割合が高く、昭和53年当時、売上の70%を占めるまでになっていました。

その後、平成5年に末富氏は社長に就任。先代は会長として会社を見守り、86歳まで毎日事務所にきて仕事をしていたが、昨年2月90歳で永眠しました。整備工場には、先代の清氏が趣味で集めた貴重な全国に数台しかないヤンマーの汎用

この状況に対応するため、農業を継続していき、農家を継承していくことが必要だと考えています。現在も数軒から請け負っているのですが、これをさらに本格化していくことが必要だと考えています。

現社長の末富茂樹氏は、昭和51年に入社し、ヤンマーでの研修を終え、本格的に仕事を始めた時期に船舶部門が切り離されたことで、入社以来、農機部門を担当することとなり、

この状況に対応するため、農業を継続していき、農家を継承していくことが必要だと考えています。現在も数軒から請け負っているのですが、これをさらに本格化していくことが必要だと考えています。

昭和48年頃から船用部門を扱い、特に小型の近海船舶用エンジン等の卸売の割合が高く、昭和53年当時、売上の70%を占めるまでになっていました。

その後、平成5年に末富氏は社長に就任。先代は会長として会社を見守り、86歳まで毎日事務所にきて仕事をしていたが、昨年2月90歳で永眠しました。整備工場には、先代の清氏が趣味で集めた貴重な全国に数台しかないヤンマーの汎用

この状況に対応するため、農業を継続していき、農家を継承していくことが必要だと考えています。現在も数軒から請け負っているのですが、これをさらに本格化していくことが必要だと考えています。

昭和48年頃から船用部門を扱い、特に小型の近海船舶用エンジン等の卸売の割合が高く、昭和53年当時、売上の70%を占めるまでになっていました。

その後、平成5年に末富氏は社長に就任。先代は会長として会社を見守り、86歳まで毎日事務所にきて仕事をしていたが、昨年2月90歳で永眠しました。整備工場には、先代の清氏が趣味で集めた貴重な全国に数台しかないヤンマーの汎用

この状況に対応するため、農業を継続していき、農家を継承していくことが必要だと考えています。現在も数軒から請け負っているのですが、これをさらに本格化していくことが必要だと考えています。

大規模化されていないことをチャンスと捉える柔軟な対応力と言え、

また整備や問い合わせにも迅速で的確な対応でネット顧客や、ホームセンター利用者等、

今まで対応してきたお客様にまで対応すること、裾野を広げる努力を継続して

その中でさらに農家の信頼を得て、地盤をしっかりと固め、ホビー農家の中から、さらにその先を見据えた農家の掘り起こしをしていきたいとのことでした。

もっていますが、その場での販売だけでなく、見込み客の発掘、お客様の考えていることなど、大事な情報を得ることができ、今後の販売に大いに役立てています。

宇部社長の御子息の禪氏は、社長の教えを受け、こまめにお客様をまわり迅速な対応で、繋がりを大切に育み、営業の話はお客様の好むところから入るなど、お客様の気持ちに配慮するよう心掛け実践しています。社長曰く「今では自分よりもお客様からの信頼が厚い」とのこと。

これは、末富社長の経験から来ている部分もあるようです。末富社長は若い時、無理な売り方をしてお客様が他所へ移ったり、反感を買うようなこともあったそうです。それでも当時は若さが勝っていたのでしょう。勢いで売り続けていた

性を引き出し、会社をさらに成長させていくことを真摯に考えています。



全国に数台しかないエンジンがここに!!



奥さま、後継の禪氏と共に



農政の方向が見えない中、今できることをやっていくしかない。その中で、柔軟に対応していく力を付けていくことが大切になります。着実に前進し続ける宇部ヤンマー販売株式会社のこれから更なる成長に期待します。